

スローライフだより 56

~Think globally, act locally~

第56号
特定非営利活動法人
スローライフ宮崎

〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1
TEL/FAX 0985-62-4233
<http://www.slow-life.or.jp>



10月10日(水) 第19回 めがね供養祭



行事報告

8月	24日	めがね供養祭第1回実行委員会
	26日	生目の杜運動公園円形花壇・南駐車場駐車場出入口コスモス植栽
9月	18日	生目小学校5年生学習田稲刈り (午前)
	18日	宮崎西小学校5年生学習田稲刈り (午後)
	28日	めがね供養祭第2回実行委員会
10月	10日	めがね供養祭
	16日	生目小学校昼食会及び生目社会福祉協議会お米贈呈式



生目の杜運動公園 ボランティア斉清掃のお知らせ

日 時:平成30年10月28日(日) 午前8:30~

集合場所:アイビースタジアム正面玄関前



ごみ拾い 小雨決行(事前申し込み不要です)

曖昧な記憶の七十三年を生きて



森本 雍子



今年は戦後73年という数字が何故か目を引く。戦後30年とか50年とか切りの良い数字の時はいろんなイベントがあったように思う。

何故73年なのか。それは来年元号が変わるからであろう。それは歴然とした事実であることに変わりない。ただ、私のみがその事実には驚き愕然としているだけなのである。

考えるにその数字の意味さえ無頓着に生きてきた曖昧な自分にただ今愕然としているだけなのである。

旧満州国生まれの小学校一年生で引き揚げてきた者である。そのことを知った方から「大地の会」に入らないか？とのお願いがあったものの、あまり興味がなく外地において比較的快適な生活が出来たのも現地の方々の犠牲とも言える生活の有り様の元に、漠然と乗っかっていた感があったとと思っていたのでその後、一度も誕生の地にも行こうと思ったこともなく思い出す事も何故か気が進まず、その期間のことをすっぱり意識の中からぬけ落ちた感もするのである。

しかしながら、無意識の中にある記憶に何かしら、懐かしく、家の中の調度品の一つとして選んだカーテンを眺める時がある。何故懐かしさを感じるのでしょうか。はたと思いあたるのは、8月15日の夜、着の身着のまま官舎のどなたかの誘導で地元の小学校にとの声に導かれ小学校一年生だった私、未就学児の妹、乳飲み児の弟を引き連れ、ほんの一握りの手荷物で家を出ようとした瞬間「あっハーフコート！」と母が縫ってくれたばかりのコートがハンガーで壁に掛けてあったのを取りに戻ろうとしたが母が「だめよ。今は！逃げるのよ」と毅然とした母の態度に圧倒され家を出た。二度とその家には帰れなかった。父は現地召集で不在であった。

そのコートは母のセル地の着物を仕立て直してボタンもついて、秋を待つばかりだったのである。その着物は母が好んで着ていた縦縞の模様は子供心にも母の思いが感じられ、「早く着てみたいな」と思っていたのである。

その色模様は漠然とながら思いだすことが出来そうな気がする。夫の母が逝き、その隠居屋に移り住むことになりカーテンを選ぶその時、なぜか心に思い浮かぶ絵柄があった。

枕草子の318段の後、一本「きよしの見ゆるもの」の次にある(六)に

うはぎ うす えび もえぎ さくら こうばい うす るい
女の表着は 薄色。 葡萄染。 萌黄。 桜。 紅梅。 すべて、薄色の類。

時代背景は平安時代中期であろうがその色を集めればすべて薄色の類に納まりそうな曖昧な記憶にあるのである。

1988年49才にして欧州にでた。この頃までは領空の制限によりソビエト連邦(当時)の領空を通るシベリアルートが使用出来ず北回りルートはアンカレッジ国際空港、正式には(テッド・ステューブンス・国際空港)に給油のため降り立った際空港からあまり遠くない山々に3月というのに、うっすらと雪があり、空気がさえざえとしていた。その空気感が生まれ育った所と似ていて、いつまでも離れ難かった。アンカレッジ国際空港にはもう一度行きたいのだが・・・人生の日暮れは近いようである。

先頃食感から思いだすのがふだん草である。日常的にふだん草の味噌汁。白和え、お浸しなど好んで食べている。思いがけない事に、そのふだん草のルーツは、アカザ科の越年草なのだそうである。外地からの引き揚げの際、よく口にしたのはアカザだったのだ。

大袈裟に言えば、母、妹、私の生命を繋いだのはアカザだったのである。また、アカザの芯の色の美しい紅色は持ち歩く紅色のハンドバックの色に反映されていて驚く。

73年という時を経て“アカザ”はグルメにもてはやされていると聞く。平和なこの日、大いに食卓を賑わせて欲しいものである。



生目小学校5年生 生き生き学習田 稲刈り

9月18日(火)



秋晴れの稲刈り日和になりました。田んぼの真ん中から左右に分かれて刈り取りました。



台風の影響も受けず、たくさんのお米が収穫できました。白米にして542kgの収穫でした。

昼食会 10月16日



昼食会后、五年生の皆さんによさこいソーラン節を披露して頂きました。パワーのある演舞を見せて頂きました。心温まるお手紙も頂きました。ありがとうございました。

生目小5年生にご招待頂いて、収穫したお米を給食と一緒に頂きました。

お米贈呈式 10月16日 (生目社会福祉協議会)



見守り隊のお礼として生目の14地区のふれあい昼食会に使って頂くために贈呈しました。

宮崎西小学校5年生 稲刈り

9月18日(火)



今年は、午後からの稲刈りになりました。曇空の中での稲刈りになりました。



稲を刈る人、稲を運ぶ人と組になり稲刈り作業を進めていきました。



生徒さんと一緒に、5年生の先生方や大塚台地域の方、父兄の方も稲刈りをされました。



1時間程の稲刈り作業でした。白米にして、276.5kgの収穫がありました。

めがね供養祭



10月10日の目の愛護デーに、不要になった「めがね」を生目神社にて供養し、供養されためがねを宮崎県ボランティア協会を通じて発展途上国へ寄贈しました。今年も県内外から1277本のめがねを送って頂き、その中で使用可能な546本を寄贈しました。



生目の杜運動公園円形花壇植栽

8月下旬に円形花壇と南駐車場南側出入り口（柏原側）花壇の植栽作業を行いました。順調に育っていますので、秋の福岡ソフトバンクホークスのキャンプの頃には色とりどりのコスモスが咲きほこることでしょう。



10月17日の円形花壇です！

10月～1月の予定

- 10月 28日 生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃
- 11月 15日 市民農園 収穫祭
- 12月 上旬 生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽
- 1月 下旬 生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃



委託業務関係

11月～1月	駐車場料金徴収員会議	スローライフ事務所
毎月第1火曜日	花壇管理者会議	スローライフ事務所
毎月第2火曜日	土、日、祝日、キャンプ期間中	駐車場料金収納・送迎車両誘導
※ 駐 車 場		(10:00～18:00)
※ 花 壇 管 理	随 時	

お便り大募集！ 57号(1月発行予定)、58号(4月発行予定)

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。また、写真(返却いたします)も大歓迎！！お葉書やFAXをお待ちしています。(TEL/FAX 0985-62-4233)



編集後記



大自然の脅威を感じずにはいられない程の台風24号、25号が立てつづけに襲来、ようやく収穫がはじまろうとしているきゅうり等のビニールハウスが倒壊するなど甚大なる災禍を被った農家が多数あったようです。心よりお見舞い申し上げます。さて、今回のコラム欄は「みやざきエッセイストクラブ会員」「宮崎県芸術文化協会監事」等々、いろんなジャンルでご活躍されている“みやざきの食と農”に大変詳しい森本雅子(ようこ)さんにお願ひしました。女性の視点から見続けてこられた暮らしの風景を書きとめられた「野うさぎの道草」や「保食神(うけもちのかみ)」に導かれて<日向の国>を歩くの著書があります。(鉱脈社)ところで、ビタミン館の指定管理者申請書・事業計画書等は9月19日に提出。めがね供養祭の前日10月9日に最後のプレゼンテーションがありました。8人の審査員に、私達生目のアツイ想ひ、ビタミン館への意欲を横山副理事長と精一杯訴えてまいりました。どうなるかは知る由もありませんが、後は結果を全て受け入れるだけです。今は“散るもよし咲くもよし”の心境です。(10/12 長谷川)